別紙－2

設 立 趣 意 書

現在、ダム管理においては、従来から求められていた治水、利水だけでなく、水源地域の自立的、持続的な活性化を図り、水環境等に果たす水源地域の機能を維持するとともに、自然豊かな水辺環境や伝統的な文化資産等を国民が広く利用できるよう、ハード、ソフト両面の総合的な整備を実施し、バランスのとれた流域の発展を図ることが期待されています。このため、国土交通省では関係行政機関や流域の関係者の理解を得ながら、水源地域の自治体、住民の皆さんと協働で各ダム毎に「水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の活性化を積極的に推進することとしています。

長井ダム水源地域は、野川渓谷を中心に東北のマッターホルンと呼ばれる祝瓶山、豊かな自然を誇る朝日連峰などの自然資源、卯の花姫伝説の残る三淵や黒獅子まつりなどの歴史文化資源を有し、近年は、水を積極的に活かした町づくりを推進しており、フットパスやアルクセッションを通した広域的な交流連携による水源の町としてのイメージも定着しつつあります。

ついては、こうした水源地域の主体的な地域づくりを伸ばし、さらに、創意工夫のある水源地域の活性化方策および関係機関が行なう支援方策を定める「長井ダム水源地域ビジョン」を策定するために、学識経験者・地域住民・関係行政機関等による「長井ダム水源地域ビジョン策定委員会」を設立するものです。